

経営比較分析表（令和6年度決算）

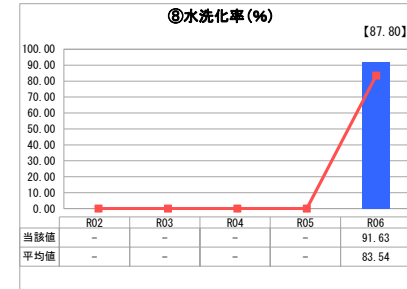
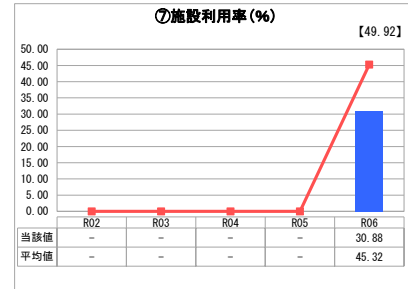
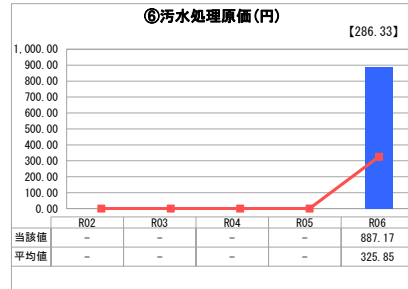
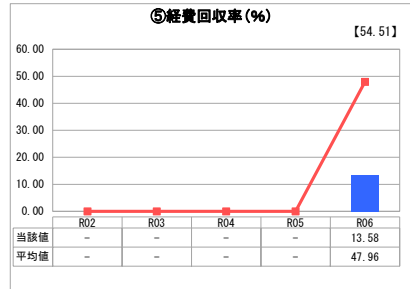
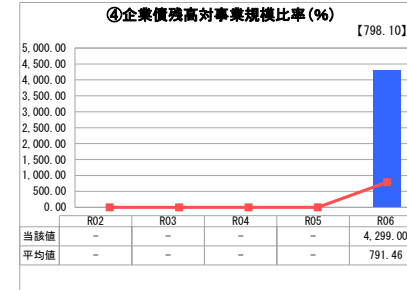
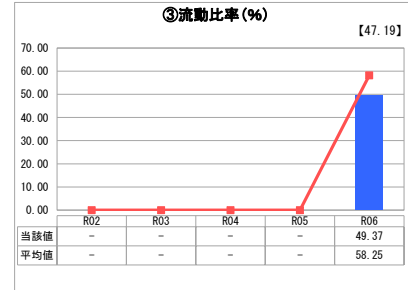
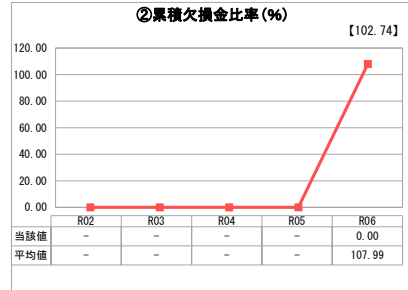
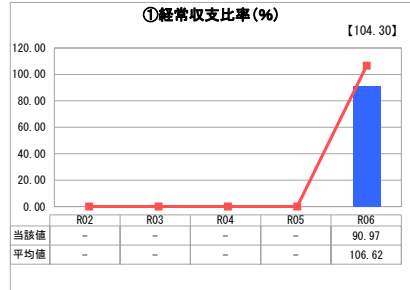
千葉県 君津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	78.56	0.26	100.00	2,310

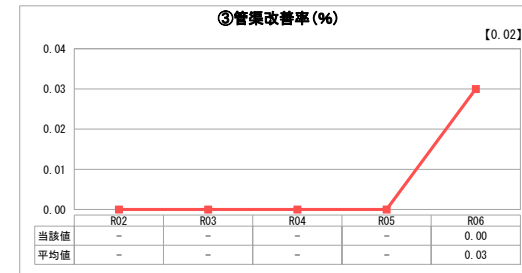
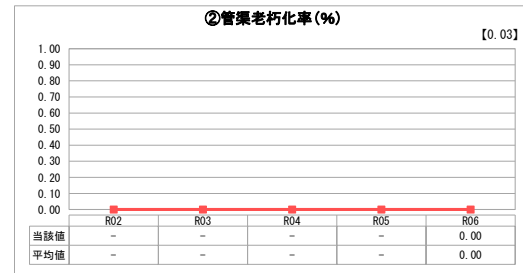
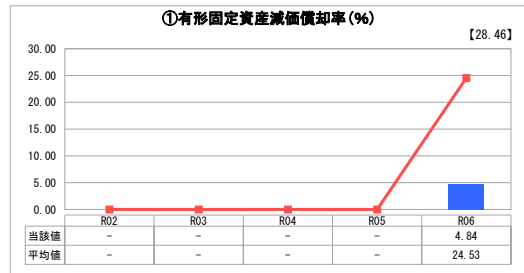
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
79,520	318.78	249.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
203	0.22	922.73

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の農業集落排水事業は令和6年度に地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行した。本表は地方公営企業法適用後初年度の経営比較分析表である。

①②⑤について、累積欠損金は生じていないが、経常収支比率は100%を下回っており、農業集落排水使用料収入や一般会計からの負担金の収益で、汚水処理費を賄っていない状況である。また、経費回収率についても100%を下回っていることから、汚水処理費を使用料で賄っていない状況である。本市は使用料収入不足を負担金で賄っているため、負担金削減に向けた取組が必要である。

③について、全国平均を上回っているものの、類似団体平均は下回っている。農業集落排水施設建設当初の企業債の償還額が多く、負担金に対応している状態である。

④について、事業規模に対する企業債残高の割合が高い状況であるが、本市は使用料収入が少ないため、全国平均及び類似団体平均より高い水準であるが、今後、企業債の償還に伴い減少していく見込みである。

⑥⑦について、全国平均及び類似団体平均より高い水準となっている。原因として、当該事業は処理区域内の人口及び使用料収入が少ない状況であることに加え、山間部に位置していることから、処理場だけではなく、ポンプ設備などの費用も高額となっていることが挙げられる。今後、維持管理費の増、更なる人口減少が予想されることから、汚水処理原価は上昇していく見込みである。

2. 老朽化の状況について

平成15年度に一部供用開始してから約20年が経過したが、管渠の耐用年数が50年であることから、当面更新は要しない。

一方、処理施設の一部の電気・機械施設が耐用年数を超えていることから、今後の方向性の検討や計画的な補修等が必要である。

全体総括

集落規模が小さく料金収入が少ないため、一般会計からの負担金に依存せざるを得ない状況である。処理施設は小規模であるが、一定規模の維持管理費は必要のため、今後必要となる老朽化した施設の更新を計画的に実施し、維持管理費の抑制に努める。

また、事業の継続について検討を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。